

平成18年11月1日

エイズ動向委員会の結果報告について

1 本日の委員会では、平成18年7月3日より平成18年10月1日までの感染症法に基づく患者・感染者報告並びに平成18年7月1日から平成18年9月30日までの任意報告を解析した。

2 平成18年7月3日より平成18年10月1日までの間に感染症法に基づき報告された新規エイズ患者数は107件、新規HIV感染者数は233件であった。

患者107件、感染者233件の内訳は、

感染原因別では、異性間の性的接触による患者39件、感染者64件、同性間の性的接触による患者39件、感染者136件、静注薬物濫用による患者1件、感染者1件、その他の原因による患者1件、感染者2件、原因不明の患者27件、感染者30件であった。

性別では男性患者93件、感染者214件、女性患者14件、感染者19件であった。

年齢区分別では20代8件、30代43件、40代27件、50歳以上29件、感染者は10代2件、20代70件、30代90件、40代45件、50歳以上26件であった。

国籍別では日本人患者99件、感染者210件、外国人患者8件、感染者23件であった。

感染地域別では、国内で感染した患者85件、感染者200件、海外で感染した患者10件、感染者18件、感染地域不明患者12件、感染者15件であった。

3 患者107件、感染者233件のうち

異性間の性的接触による患者39件、感染者64件のうち日本人男性は、患者30件、感染者43件、日本人女性は、患者7件、感染者11件であった。

また、外国人男性は、患者0件、感染者6件、外国人女性は、患者2件、感染者4件であった。

同性間の性的接触による患者39件、感染者136件のうち日本人男性は、患者36件、感染者128件であった。

また、外国人男性は、患者3件、感染者8件であった。

日本人男性患者89件のうち20代7件、30代33件、40代23件、50歳以上26件、日本人男性感染者197件のうち、10代2件、20代63件、30代73件、40代39件、50歳以上20件であった。

また、日本人女性患者10件のうち20代1件、30代7件、50歳以上2件、日本人女性感染者13件のうち、20代2件、30代5件、40代3件、50歳以上3件であった。

外国人男性患者4件のうち30代1件、40代2件、50歳以上1件、外国人男性感染者17件のうち20代3件、30代11件、40代2件、50歳以上1件であった。

また、外国人女性患者4件のうち30代2件、40代2件、外国人女性感染者6件のうち20代2件、30代1件、40代1件、50歳以上2件であった。

国内感染による患者85件のうち日本人男性が75件、日本人女性が8件、外国人男性が2件、外国人女性が0件であった。

また、国内感染による感染者200件のうち日本人男性が181件、日本人女性が8件、外国人男性が9件、外国人女性が2件であった。

海外感染による患者10件のうち日本人男性が6件、日本人女性が1件、外国人男性が1件、外国人女性が2件であった。

また、海外感染による感染者18件のうち日本人男性が7件、日本人女性が3件、外国人男性が6件、外国人女性が2件であった。

4 任意報告により

キャリア等からエイズ患者になったとの報告は4件であった。

患者・感染者の死亡は、AIDSが原因の2件、それ以外で1件であった。

5 平成18年7月から9月末までの保健所等におけるHIV抗体検査件数は23,502件、自治体が実施する保健所以外の検査件数は5,804件、保健所等における相談件数は43,337件であった。

6 平成18年1月から9月末までの献血件数3,738,551件(速報値)のうち、HIV陽性件数は74件であった。